

笑顔あふれる学校をめざして

学校教育目標

自ら学び、関わりを深め、たくましく生きる子供の育成

- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・杜の都の学校教育



- ・保護者の願い
- ・教職員の願い
- ・児童の実態
- ・家庭や地域社会の実態

めざす児童像

よく考え進んで学ぶ子

- ・よく考え、自ら学ぶ児童
- ・話をよく聞き、進んで自分の考えを表現する児童
- ・粘り強く学習に取り組む児童
- ・想像力豊かに読書を楽しみ、感性を磨く児童
- ・自分の良さを理解し、生かすことのできる児童

認め合い、助け合う子

- ・明るい挨拶、温かい言葉遣いができる児童
- ・友達の思いや考えを受け止め、認め、力を合わせることができる児童
- ・地域や自然、人との関わりを大切にする児童

たくましく挑戦する子

- ・心も体も健康でたくましい児童
- ・進んで運動し、身のこなしを高め、体を鍛える児童
- ・健康や安全に気を付けて過ごす児童
- ・目標に向かって努力し続ける児童

めざす学校像

○ 魅力のある学校

☆子供たちが大好きと思える学校

- ・学習のゴールイメージが明確にされ、分かる授業が展開される学校
- ・学び合い、支え合い、高め合える学校
- ・豊かな環境を生かし、伸び伸びと学べる学校
- ・明るい挨拶と温かい言葉が聞こえる学校
- ・児童が安心して過ごせ、保護者や地域から信頼される学校

めざす教職員像

○ 魅力のある学校を追求し実現させる教職員

- ☆児童・保護者・同僚に信頼される教職員
- ・児童一人一人と向き合い、大切に育てる教職員
- ・いじめや不正を許さず、児童の気持ちを大切にする教職員
- ・児童の安全・安心の確保が図れる教職員
- ・意欲的に研究・研修に励み、指導力を高める教職員
- ・目標達成に向け、根気強く指導に当たる教職員

協働型学校評価

～よりよい生活を送るために、自ら考え、行動し、共に高め合う児童の育成～（仮）

「地域とともに歩む学校」

コミュニティ・スクールの運営・推進 小中幼連携

学校経営の方針

① 確かな学びを育てる

学校に来る楽しさや喜びにつながるための「分かる・できる」授業づくり，きめ細かな指導の実践を通して，確かな学力の育成に努める。

② 健やかな体と心を育てる

自然や人との豊かな関わりを通して，他を思いやる温かで豊かな心の育成に努める。安全の意識を高め，簡単には諦めず粘り強く取り組むたくましさで健やかな心身の育成に努める。

③ 行動を育てる

規律正しい生活，正しい善悪の判断ができ，行動に結び付けることができる児童の育成に努める。

④ 開かれた学校づくりをする

コミュニティ・スクールを軸とした家庭や地域社会とのよりよい連携の推進，開かれた学校・信頼される学校づくりに努める。

学校教育目標と経営方針の具現化に向けた重点実践事項

「主体性を持って，物事に対して自分事と捉えて判断し，行動できる児童を育てていきたい。」

① 「よく考え進んで学ぶ子」に育てるために

<確かな学力の育成～基礎・基本の徹底，学力の向上～>

◎学習意欲の向上と学習習慣の確立（学び方の指導，評価の工夫，家庭学習の習慣化等）

- ・チャレンジタイムの確実な実施→授業としてカウントできるものとして計画的に行う
- ・指導体制の工夫（少人数指導，T・T指導，教科担任等の充実）
- ・ノーチャイムの継続（時計を見て，時間を意識して行動する）

◎問題解決的な学習，体験的な学習，探究的な活動等の重視

- ・地域の教育資源の活用（地域の素材・人材の活用，ICTの活用など）
- ・体験を伴う教育の充実 ex.米作り，里山学習

◎言語活動（日常的な「聞く，話す，話し合う，読む・書く」など）の充実と読書活動の推進

◎自分づくり教育の推進・自己肯定感を育む授業づくり

◎校内研究の充実と指導力の向上，児童に返るOJTの推進

◎GIGA スクール構想の推進と充実

② 「認め合い、助け合う子」に育てるために

＜豊かな心の育成～道徳・特別支援・福祉・環境教育等の推進～

～生徒指導の充実、安心・安全な居場所づくりの推進～>

◎望ましい人間関係が醸成される学級経営・学年経営の推進

- ・児童に寄り添い、一人一人の居場所づくり、望ましい学級・学年集団の関係づくりを目指す
- ・いじめ防止・不登校防止、早期発見と慎重で丁寧な対応

◎関わる力や社会性を高める学習・活動の充実

- ・明るい挨拶や温かい言葉遣いの励行、学校・家庭・地域が一体となった継続的な指導
- ・異年齢集団活動（やしおタイム、学年部活動など、共に遊ぶ、共に創る、共に働く等）を通じた児童の人間関係力や社会性などの育成

◎道徳教育・命を大切にできる心の教育の充実

- ・「考え、議論する道徳」授業の推進。体験を生かした道徳教育、家庭や地域と連携を図った道徳教育（「心のノート」の活用、道徳の授業公開）の推進

◎福祉・環境教育の推進

- ・福祉施設等との交流の推進（思いやりの心や尊敬・感謝の心の育成）
- ・環境教育の推進（校舎内外の美化、植物や生物を大切にしようとする心の育成）

◎教育相談の充実（いじめ・不登校、発達障害児等への適切な対応）と早期の組織的対応・支援

- ・一人一人のニーズに応じた特別支援教育、交流活動の推進
- ・発達段階に応じた情報モラルに関する指導の推進（スマートフォンや携帯電話のルール、いじめ防止）

③ 「たくましく挑戦する子」に育てるために

＜健やかな心身の育成・防災対応力の育成～保健・安全教育・食育の充実～>

◎安全の意識を高め、自己管理能力の育成を図る

- ・防災読本の活用、学校の決まり、安全指導と事故防止の徹底 ～「仙台版防災教育」の推進～
- ・自分の命を守り、安全を確保する「自助の力」、災害時対応の「共助の力」の育成
- ・日常の清掃活動・美化活動の推進
- ・安全点検・巡視の徹底と迅速な対応、校内の防犯体制、緊急時の指導體制の強化
- ・緊急時を想定した避難、児童引渡し等の実践的訓練の実施
- ・家庭や地域と連携した防犯体制の構築（子ども110番の家、学校ボランティア防犯巡視員等）
- ・感染症の未然防止の徹底

◎体力の向上を目指した運動の日常化の推進

- ・運動の楽しさや向上する喜び、仲間との豊かな関わりが得られるような授業づくり、
- ・行事や業間活動の推進、環境の整備、積極的な外遊びの奨励や運動の習慣化による体力向上
- ・体力・運動能力調査の効果的な活用

◎規則正しい生活習慣の確立と健康教育（授業を基にした保健教育、食育等）の推進

- ・“早寝・早起き・朝ごはん”等の規則正しい生活の推進
- ・授業づくりを基に望ましい生活習慣、食習慣の日常化を図る（養護教諭、栄養教諭、家庭との連携）

④ 「開かれた学校・信頼される学校づくり」のために

◎教育活動や児童の現状・課題、学校評価等に関する情報の公開と積極的発信

- ・全教育活動の公開・授業参観の実施、各種たより、学校 Web ページ等の充実

◎コミュニティ・スクールの活用と推進

◎「地域で学ぶ学習」の充実（地域との連携、地域の自然や人材の有効活用）

◎協働型学校評価の活用（学校運営協議会、保護者、児童からの多様な評価の公表と学校運営への反映）

◎実践的指導力、人間性の向上を図る校内研究・研修、OJT、自己研鑽の充実

◎迅速、誠実、丁寧、適切な対応、校務の遂行

◎公務員としての倫理観、法令・服務規律の遵守と徹底